文系ラボ　日本史のテーマ史

日本史 外交史（朝鮮半島との関係）　確認問題集

全19問　／　解答・解説は後半　　名前 _____

記事「日本史 外交史（朝鮮）まとめ｜白村江から朝鮮通信使・日韓基本条約まで」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部　一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 朝鮮半島南部にあった小国家群で、倭が鉄資源を求めて結びついた地域を何というか。

2 白村江の敗戦後の664年、対馬・壱岐・筑紫に置かれた兵士を何というか。

3 670年に作られた、最初の全国的な戸籍を何というか。

4 新羅との関係が悪化したあと、遣唐使がとるようになった、東シナ海を横断する航路を何というか。

5 倭寇の討伐で名を上げ、1392年に高麗を倒して王位についた武将は誰か。

6 1443年に宗氏と朝鮮の間で結ばれ、歳遣船を年50隻と定めた条約を何というか。

7 室町時代の日朝貿易で、朝鮮から日本が大量に輸入した織物は何か。

8 文禄・慶長の役のころ朝鮮から伝わった技術で、後陽成天皇の命による慶長勅版などの出版につながったものは何か。

9 1607年から来日した朝鮮の使節のうち、最初の3回は何と呼ばれるか。

10 1910年の韓国併合のあと、朝鮮を統治するために置かれた機関を何というか。

第2部　正誤問題

次の文ア〜エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 古代の朝鮮半島との関係について。

ア　好太王碑には、倭が百済と結んで高句麗と戦ったことが刻まれている。
イ　663年の白村江の戦いで、倭は新羅と結んで唐と戦った。
ウ　白村江の敗戦後、大宰府を守るために水城が築かれた。
エ　渤海は唐・新羅と対立していたため、日本に友好を求めた。

12 室町時代の日朝関係について。

ア　前期倭寇は、対馬・壱岐・松浦地方を拠点とする人々が中心だった。
イ　1419年の応永の外寇では、元と高麗の軍が博多に攻め寄せた。
ウ　対馬の宗氏は、渡航の許可証である文引を発行して通交を統制した。
エ　朝鮮は日本の船が入る港を三浦に限り、倭館を設けた。

13 江戸時代の日朝関係について。

ア　1609年の己酉約条で、宗氏の歳遣船は年20隻とされた。
イ　己酉約条で、貿易の場は釜山の倭館に限られた。
ウ　新井白石は、国書での将軍の称号を「日本国王」から「日本国大君」に改めさせた。
エ　1811年の最後の通信使は、対馬で国書を交換した。

14 明治時代の日朝関係について。

ア　日朝修好条規で、日本は開港地での領事裁判権を認めさせた。
イ　甲申事変は、金玉均らの開化派が日本公使の支援を受けて起こしたクーデタである。
ウ　1885年の天津条約で、日清両国は朝鮮からの撤兵と出兵時の事前通告を取り決めた。
エ　1905年の第2次日韓協約で、韓国の軍隊が解散させられた。

第3部　年代の並べ替え

次のア〜エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 古代から中世の出来事を年代順に並べなさい。

ア　応永の外寇が起こった。
イ　渤海の使節が初めて来日した。
ウ　白村江の戦いが起こった。
エ　三浦の乱が起こった。

16 近世の出来事を年代順に並べなさい。

ア　己酉約条が結ばれた。
イ　新井白石が通信使の待遇を簡素化した。
ウ　文禄の役が始まった。
エ　最後の通信使が対馬で迎えられた。

17 近代の出来事を年代順に並べなさい。

ア　甲申事変が起こった。
イ　第3次日韓協約が結ばれた。
ウ　日朝修好条規が結ばれた。
エ　第2次日韓協約が結ばれた。

第4部　論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 白村江の敗戦が、その後の倭の国内政治にどのような影響を与えたかを、具体的な政策にふれながら150字程度で説明しなさい。

19 江戸時代の朝鮮との国交の回復と、朝鮮通信使の意義を、対馬藩の役割にふれながら120字程度で説明しなさい。

日本史 外交史（朝鮮半島との関係） 確認問題集　解答・解説

第1部　一問一答

1 **加耶（加羅）**

この地域は古くから鉄の産地でした。『日本書紀』では「任那」と呼ばれています。加耶の国々は562年までに新羅などに併合されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古墳時代

2 **防人**

同じく664年には、のろしで急を知らせる烽（とぶひ）も置かれ、大宰府の北には水城が築かれました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／飛鳥時代

3 **庚午年籍**

667年の近江大津宮への遷都とともに、白村江の敗戦のあと国内の支配を整えた政策の一つです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／飛鳥時代

4 **南路**

それまでは朝鮮半島の沿岸を北上する北路がとられていました。新羅との関係の悪化が航路を変えた点が因果として問われます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／奈良・平安時代

5 **李成桂**

翌年、国号を朝鮮と定めました（李氏朝鮮）。朝鮮は日本に倭寇の取り締まりと通交を求めました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町時代

6 **嘉吉条約（癸亥約条）**

朝鮮側では癸亥約条と呼びます。三浦の乱のあとの1512年の壬申約条で、歳遣船は25隻に半減されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町時代

7 **木綿**

木綿のほか、大蔵経などの経典や書籍も輸入されました。日本からは銅・硫黄や、東南アジアの産物が輸出されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町時代

8 **活字印刷**

あわせて、日本に連れてこられた朝鮮の陶工たちによって、有田焼・萩焼・薩摩焼などの焼き物づくりが始まりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／安土桃山時代

9 **回答兼刷還使**

日本側の国書に答えることと、文禄・慶長の役で日本に連れてこられた人々を連れ帰ることが目的だったため、こう呼ばれます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代

10 **朝鮮総督府**

初代の朝鮮総督は陸軍大将の寺内正毅です。併合の前、1905年の第2次日韓協約で置かれたのは統監府です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治時代

第2部　正誤問題

11 **イ**

白村江の戦いで倭は百済の復興を助け、唐・新羅の連合軍に敗れました。新羅は唐と結んだ側です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／飛鳥時代、入試で狙われるポイント

12 **イ**

応永の外寇は、朝鮮が倭寇の根拠地とみなした対馬を攻撃した事件です。元と高麗の軍が攻め寄せたのは13世紀の元寇です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町時代

13 **ウ**

白石は「日本国大君」を「日本国王」に改めさせました。8代将軍徳川吉宗が「大君」に戻しています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代

14 **エ**

第2次日韓協約で日本がにぎったのは外交権です。軍隊の解散は、1907年の第3次日韓協約のときです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治時代、比べて覚える

第3部　年代の並べ替え

15 **ウ→イ→ア→エ**

白村江の戦い（663年）→渤海の使節の初来日（727年）→応永の外寇（1419年）→三浦の乱（1510年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 **ウ→ア→イ→エ**

文禄の役（1592年）→己酉約条（1609年）→新井白石の改革（1711年）→最後の通信使（1811年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

17 **ウ→ア→エ→イ**

日朝修好条規（1876年）→甲申事変（1884年）→第2次日韓協約（1905年）→第3次日韓協約（1907年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）、比べて覚える

第4部　論述問題

18 **解答例：663年、百済の復興を助けようとした倭は白村江で唐・新羅の連合軍に敗れた。倭は両国の来襲に備え、対馬・壱岐・筑紫に防人と烽を置き、大宰府を守る水城や大野城などの朝鮮式山城を築いた。さらに都を近江大津宮に移し、庚午年籍を作るなど国内の支配の整備を急ぎ、律令国家の形成が進んだ。**

採点のポイント：①白村江の敗戦（唐・新羅）、②防人・烽・水城・朝鮮式山城などの防衛策、③近江大津宮への遷都や庚午年籍、④律令国家の形成につながったこと、の4点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／飛鳥時代、論述で使える要点

19 **解答例：文禄・慶長の役で断たれた国交は、対馬の宗氏の仲介で1607年に回復し、1609年の己酉約条で釜山の倭館での貿易が始まった。通信使は主に将軍の代替わりに来日して国書を交わし、道中では学者や文人との交流も行われ、両国の関係を安定させた。**

採点のポイント：①文禄・慶長の役による断絶、②対馬の宗氏（対馬藩）の仲介と己酉約条・倭館、③通信使が将軍の代替わりなどに来日したこと、④文化交流と関係の安定、の4点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代、論述で使える要点

記事：日本史 外交史（朝鮮）まとめ｜白村江から朝鮮通信使・日韓基本条約まで　https://lawcityblog.com/nihonshi-theme-gaiko-korea/

問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。